

2015年3月期(2014年度) 決算説明会資料

2015年5月29日

岡谷電機産業株式会社

東京証券取引所 市場第一部
証券コード 6926

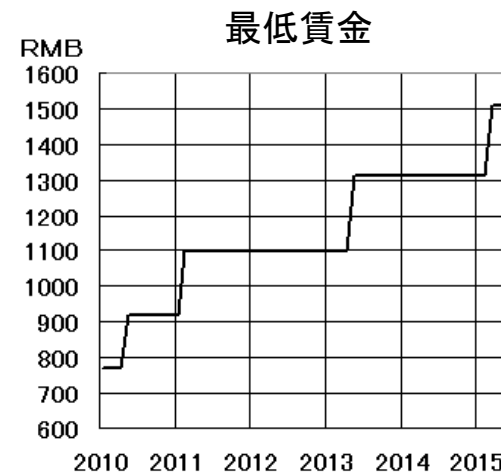
本日の説明内容

- [Ⅰ] OKAYAを取り巻く環境
- [Ⅱ] 2014年度の業績(2015年3月期)
- [Ⅲ] 足元の課題
- [Ⅳ] 第9次中期経営計画(2015年度～2017年度)
- [Ⅴ] 2015年度業績見通し(2016年3月期)
- [Ⅵ] 2015年6月25日付役員体制案

[I] OKAYAを取り巻く環境

2014年度は中国の変化が大

- ・ 人員採用難 (東莞地域 出稼ぎ労働者 昨年の3分の1に減少)
- ・ 労務費の高騰 (15%UP)



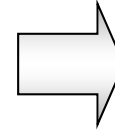
- ・ 社会工の採用
- ・ 生産効率の低下
- ・ 残業代のUP
- ・ 最低賃金のUP
- ・ 社会保障費のUP
- ・ 地代家賃のUP

労務費は
日本の3分の1程度に上昇

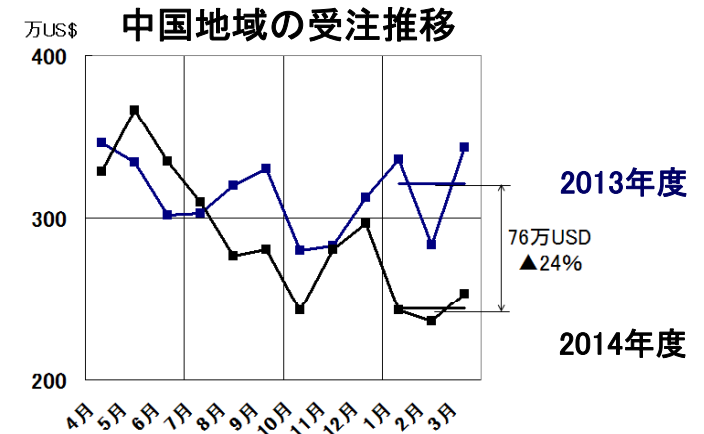
東莞地域 日本企業 4~5年前の
550社→450社に 約100社減

加えて、円安・ドル高・人民元高

- お客様のコストダウン要求が増加
- 生産拠点移管の動きが始動



受注減



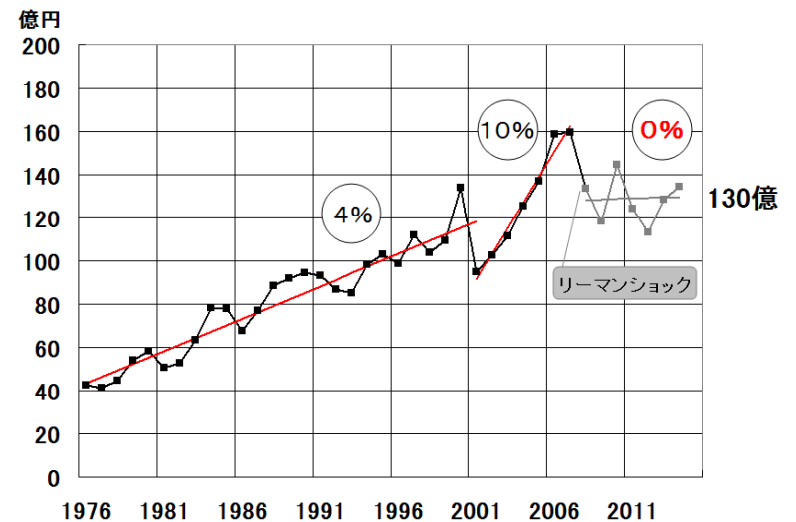
[Ⅱ] 2014年度の業績(2015年3月期)

単位:百万円(万US\$)

	2013年度	2014年度	前年増減比
売上高(百万円)	12,852	13,485	633 (4.9%)
国内(百万円)	6,207	6,467	260 (4.2%)
海外(万US\$)	6,662	6,428	-234 (△3.5%)
海外(百万円)	6,645	7,018	373 (5.6%)
営業利益 (利益率)	397 (3.1%)	567 (4.2%)	170 (42.8%)
経常利益	496	701	205 (41.3%)
特別損失	2	237	
当期純利益	365	359	-6 (△1.6%)

対前年比 売上高 128億円→134億円 6億円増
 為替 99.75→109.18 = 9.43円 (円安)
 為替影響 6億円(実質増は0)

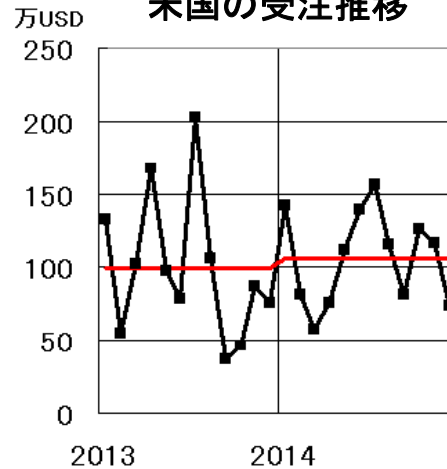
連結売上高推移



地域別売上高

		2013年度実績		2014年度実績		
		売上高	構成比	売上高	構成比	前年増減比
連結	(百万円)	12,852	100%	13,485	100%	633 (4.9%)
国内	(百万円)	6,207	48%	6,467	48%	260 (4.2%)
海外	(万US\$)	6,662		6,428		△ 234 (△3.5%)
	(百万円)	6,645	52%	7,018	52%	373 (5.6%)
中国・台湾・韓国	(万US\$)	3,663	55%	3,577	56%	△ 86 (△2.3%)
東南アジア	(万US\$)	1,626	24%	1,679	26%	53 (3.3%)
USA・EU他	(万US\$)	1,373	21%	1,172	18%	△ 201 (△14.7%)

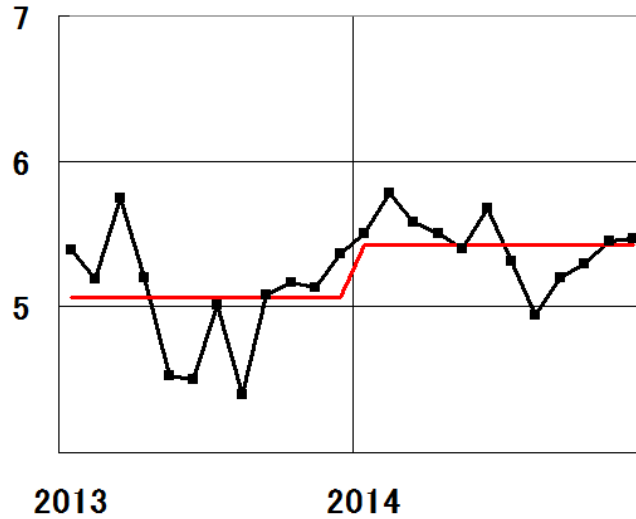
米国の受注推移



国内受注

(前年より上昇傾向)

単位: 億円

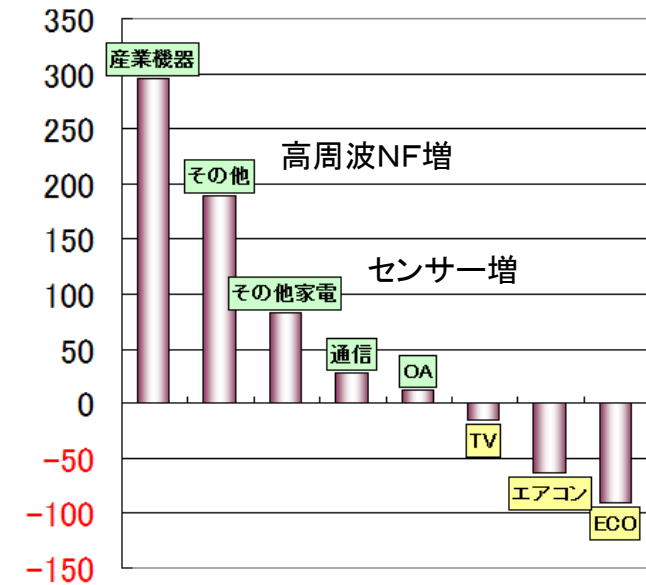


単位: 百万円

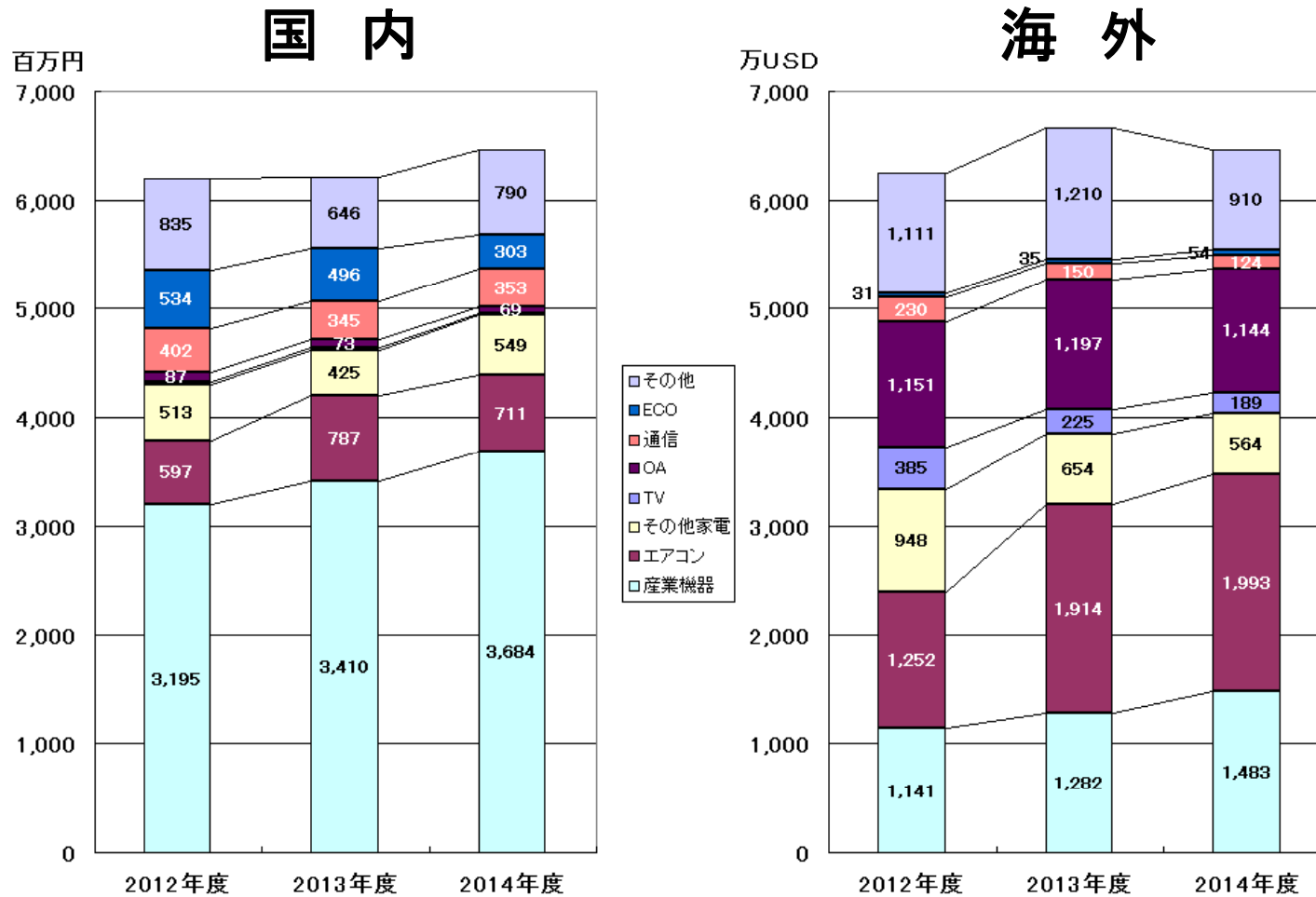
受注高	2013年度	2014年度	差異	伸び率
合計	6,073	6,512	439	107%
LCD(終息)	208	60	△ 148	
LCDを除く	5,865	6,452	587	110%

単位: 百万円

国内受注増減



用途別売上高



事業別売上高

事業別	2013年度実績		2014年度実績		
	売上高 (百万円)	構成比	売上高 (百万円)	構成比	前年比
ノイズ	7,840	61%	8,319	62%	106%
サージ	2,132	17%	2,400	18%	113%
表示	2,327	18%	2,040	15%	88%
センサー	553	4%	726	5%	131%

前期にPDPと国内のLCDを終息
LEDの伸びが追いついていない



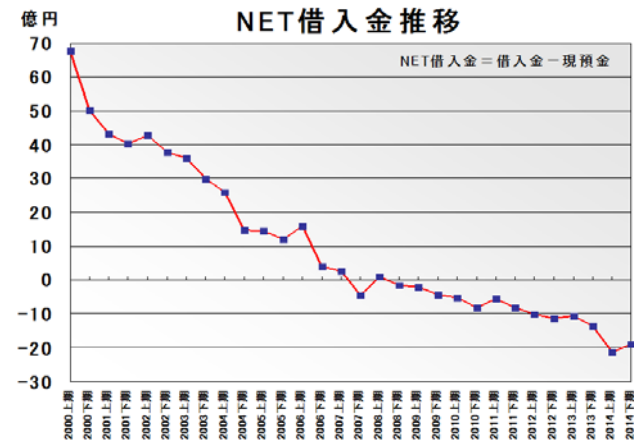
2015年3月期 財務状況(連結)

単位:百万円

	14/3期	15/3期	増減
流動資産	8,264	9,272	1,008
現預金	2,370	2,554	184
売上債権	3,967	4,397	430
棚卸資産	1,497	1,931	434
その他	430	390	△ 40
固定資産	4,455	4,420	△ 35
有形固定資産	2,673	2,196	△ 477
無形固定資産	150	60	△ 90
その他	1,632	2,164	532
資産合計	12,719	13,692	973
買入債務	995	1,081	86
借入金	1,015	649	△ 366
その他	1,687	1,947	260
負債合計	3,697	3,677	△ 20
純資産合計	9,022	10,015	993
自己資本比率	71%	73%	2%

資産10億増の内訳

- ・為替影響 7.5億
- ・有価証券 4.3億
- ・売上債権 2.3億
- ・棚卸 2.5億
- ・設備投資 1.8億
- ・減価償却 △6.3億
- ・TOCC持分法に △1.8億



[Ⅲ] 足元の課題

◆ 中国リスクの回避

中国東莞工場:

省人化の推進(200人削減) → 投資2億円実施

スリランカ工場:

生産能力増強・品種拡大 → 月産3500万個体制へ



◆ 海外販売の強化

- 中国地域の受注回復 → 日系を中心に活動強化
- 日系以外のスペックイン強化(台湾・韓国)
- 産業機器分野への営業強化

[IV] 第9次中期経営計画(2015年度～2017年度) 12

課題は、現状維持から抜け出すこと

(現状維持では後退しているのと一緒)

製造業の“あたり前の力”は
市場ニーズ・お客様の**要求に応え**

新しいもの・負けないものを→より早くつくる
信頼して頂ける→より良いものをつくる
人手を減らし・効率よく→より安くつくる



タイムリーに
実現する

この、ものづくりの力を強くする

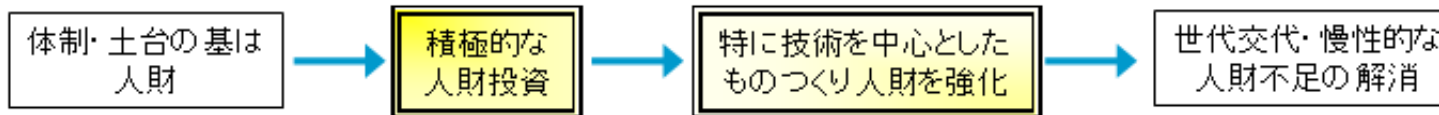
第9次中期経営計画の柱

技術を中心とした
ものづくり職場の体制・土台づくりに置き

『成長に向け、ものづくりの力の強化を図る』

体制・土台づくりのポイント

1、ものづくり人財の強化



2、生産構造の改革



2015年度投資計画

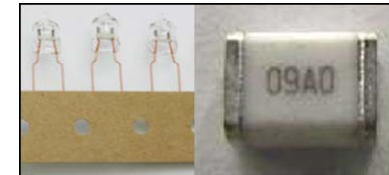
単位:百万円

改善設備投資	400
省人化	200
品質改善・保守他	200
増産設備投資	300
商品開発設備投資	200
埼玉新工場	500
設備投資計	1,400
研究開発投資	500
人材投資	100
投資合計	2,000

← 東莞工場省人化

埼玉工場： ※新工場建設

サーミアブソーバーRHCAの新生産ライン構築
 (顧客動向は、ガラスタイプ→セラミックタイプへ移行)
 グローバル化の為のコスト競争力実現



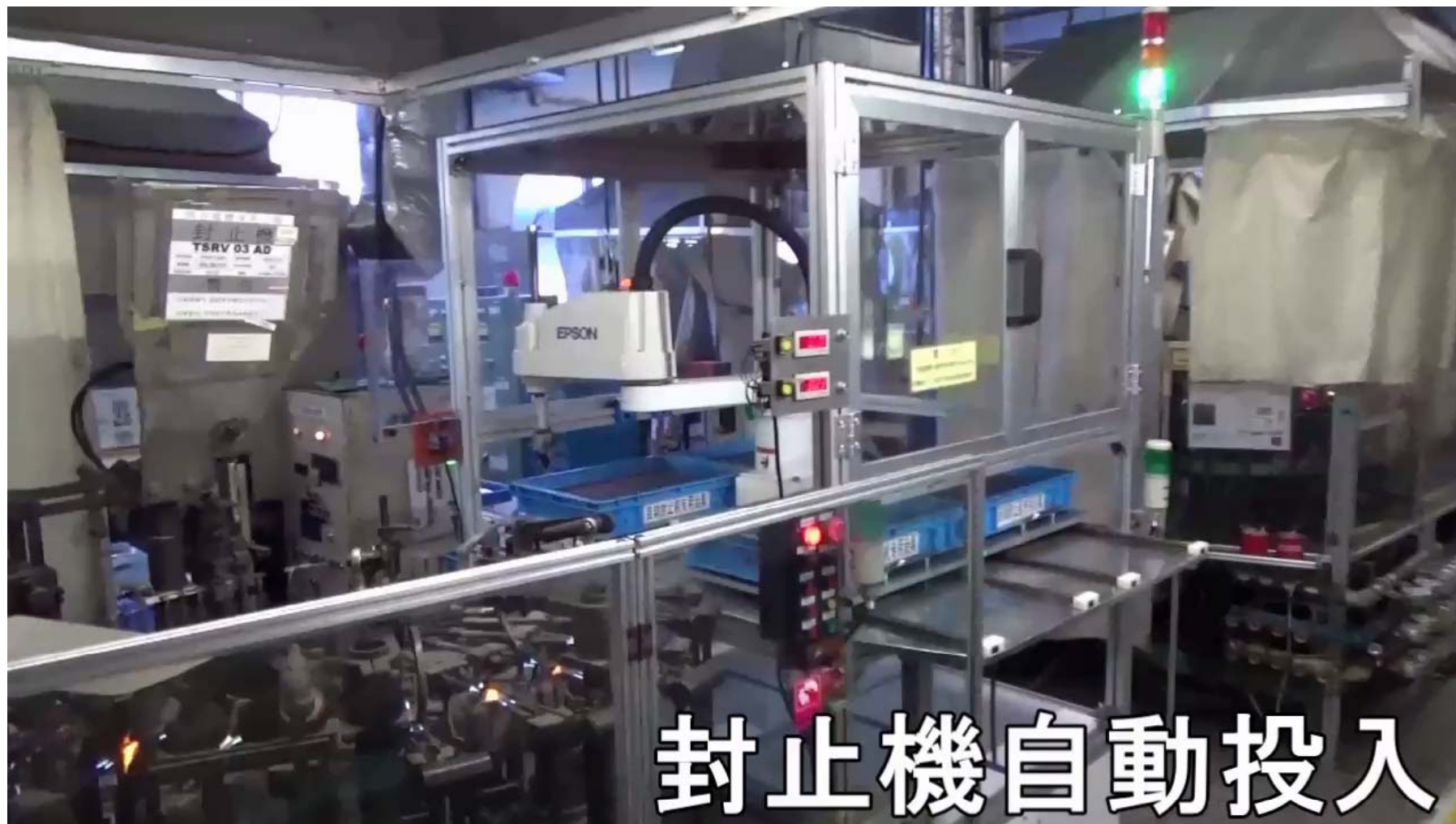
東北工場：

国内販売商品は国内でつくる体制を構築
 海外生産と対抗できるコストの実現

「ものつくりの力の強化」には革新への挑戦が必要

革新の道具として ロボットの導入を促進する

16



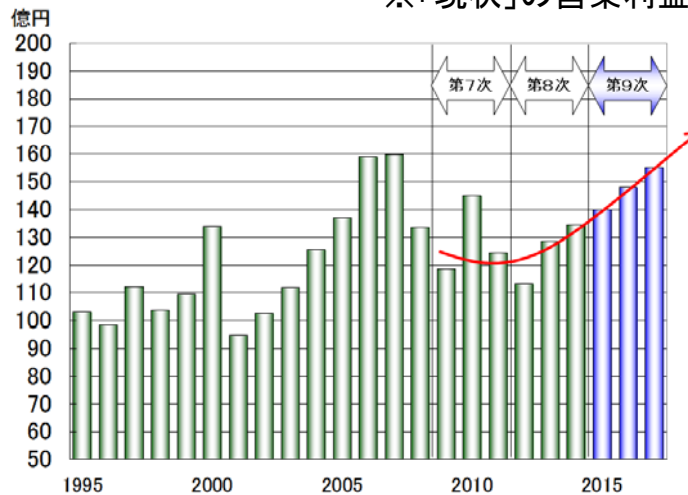
封止機自動投入

第9次中期経営計画目標値

単位:億円

	現状の力	中計目標 2017年度
売上高	130	150 <年率 5%UP>
営業利益 (利益率)	6.5 5%	10 7%
当期利益	4.5	7
ROE	約4%	7%

※「現状」の営業利益はTOCC除いて算出



	2017年度 売上計画値
国内(億円)	75
海外(万US\$)	7,500

[V] 2015年度業績見通し(2016年3月期)

単位:百万円(万US\$)

	2014年度	2015年度			
	実績	上期	下期	年間	前年増減比
売上高(百万円)	13,485	7,200	7,100	14,300	6.0%
国内(百万円)	6,467	3,400	3,400	6,800	5.1%
海外(万US\$)	6,428	3,330	3,220	6,550	1.9%
海外(百万円)	7,018	3,800	3,700	7,500	6.9%
営業利益 (利益率)	567 (4.2%)	300 (4.2%)	350 (4.9%)	650 (4.5%)	4.6%
経常利益	701	250	300	550	△21.5%
当期純利益	359	20	190	210	△41.5%
配当	9円	中間期4円+期末5円=9円			

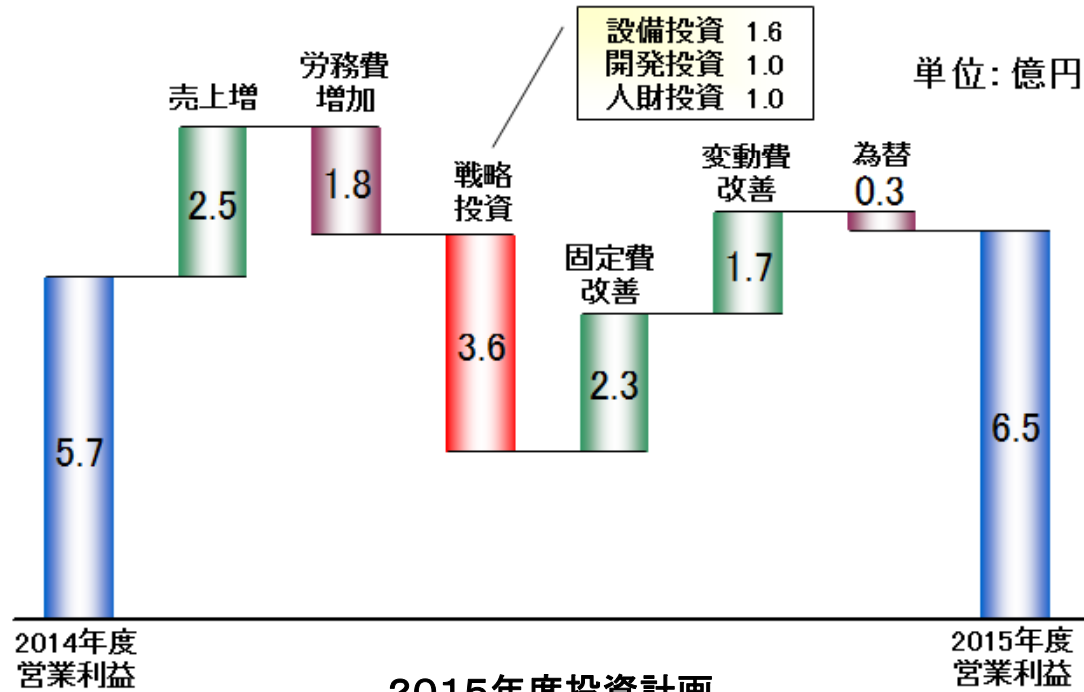
USD

109.2円

115円

(注) 当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載

営業利益の増減分析 (2014年度/2015年度対比)



2015年度投資計画

単位: 百万円

改善設備投資	400
省人化	200
品質改善・保守他	200
増産設備投資	300
商品開発設備投資	200
埼玉新工場	500
設備投資計	1,400
研究開発投資	500
人材投資	100
投資合計	2,000

事業別売上計画

事業別	2014年度実績		2015年度計画		
	売上高 (百万円)	構成比	売上高 (百万円)	構成比	前年比
ノイズ	8,319	62%	8,750	61%	105%
サージ	2,400	18%	2,530	18%	105%
表示	2,040	15%	2,250	16%	110%
センサー	726	5%	770	5%	106%
合計	13,485	100%	14,300	100%	106%
USD	109.2円		115円		

計画達成に向けた重点ターゲット市場



[VI] 2015年6月25日付役員体制案

【 取締役 】

役 職	氏 名
代表取締役社長 (最高経営責任者)	山岸 久芳
取 締 役	山田 尚人
取 締 役	清田 宗明
取締役(非常勤)	小口 徹 (社外取締役・独立役員)

【 監査役 】

役 職	氏 名
常勤監査役	吉村 太一 (社外監査役)
監査役(非常勤)	吉野 卓
監査役(非常勤)	湯澤 公明 (社外監査役)
補欠監査役	林 孝光

【 執行役員 】

役 職	執行業務	氏 名
社 長	最高執行責任者 (兼)経営本部長	山岸 久芳
常務執行役員	営業全般統括 (兼)JBCカンパニー長	山田 尚人
常務執行役員	IBCカンパニー長	清田 宗明
常務執行役員	生産全般統括 (兼)JBC副カンパニー長	水野 壽孝
執行役員	IBC営業部門長	高屋舗 明
執行役員	経営本部 副本部長	本間 勤
執行役員	経営本部 経理部長	黒崎 政道

JBC = 国内事業カンパニー
IBC = 国際事業カンパニー

ご清聴ありがとうございました
ご支援のほどよろしくお願いいたします

連絡先

窓 口：経営本部

メールアドレス：OEI_Kouhou@okayaelec.co.jp

電話番号：03-4544-7000

FAX番号：03-4544-7007

なお、本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が、様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。